

令和8年度鶴見区区政会議 第1回地域保健福祉部会 会議要旨

1 日時 令和8年7月3日（金） 午後7時00分から午後7時56分

2 場所 鶴見区役所 3階 302会議室

3 出席者

（委員）

南口部会長、川西副部会長、高塚委員、田中委員、原田委員、宮城（博）委員、宮田委員
（鶴見区役所）

萩平政策推進担当課長、大川市民協働課長、築部保健福祉課長、金崎生活支援担当課長、
中村総務課政策推進担当課長代理、杉ノ内市民協働課長代理、
佐藤保健福祉課福祉担当課長代理、貴田保健福祉課保健担当課長代理、小川保健副主幹、
徳市民協働課担当係長、濱畑保健福祉課担当係長

4 議題

- (1) 令和8年度鶴見区区政会議スケジュールについて
- (2) 令和7年度鶴見区運営方針自己評価について

5 議事要旨

- (1) 令和8年度鶴見区区政会議スケジュールについて

事務局から、「令和8年度鶴見区区政会議スケジュール」（資料1）に関する説明を行い、委員からの意見等は特段なかった。

- (2) 令和7年度鶴見区運営方針自己評価について

事務局から、「令和7年度鶴見区運営方針【独自様式】」（資料2）に関する説明を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答の概要は次のとおり。

- ・ 「あいまち」の会員数が増えているとのことだが、現在の会員数はどのくらいか。
⇒ 令和8年度3月末時点で421人となっている。
- ・ 以前の区政会議で、他府県では運送・配達事業者等の力を借りて行方不明の認知症の方を探す取組があるという意見があり、鶴見区でも検討するとの回答であったが、何か進展はあるか。
⇒ 今のところ、鶴見区ではそういった取組は進んでいない状況で、まずは認知症サポーター養成講座を多くの方に受講していただくことに注力しており、ご提案については、今後検討させていただく。
- ・ 以前、ほうきとちりとりを持った高齢者に道を聞かれたことがあったが、受け答えがしっかりしていたため、声をかけて引き留めることができずに困った経験があり、必ずしも認知症とわかるような状況ばかりではないのだなと感じた。

- ・ ネットワークの中でも高齢の方が増えており、会話の中で認知症かなと感じることはよくあるが、本人に直接言うこともできず、もどかしく感じている。
- ・ 以前、身内に認知症の方がおり、顔を忘れられたり、物を投げられたりして、親族でも接しにくいところがあったが、そういう人にも、もう少しサポートはできると思う。

(3) その他

事務局から、参考資料「令和7年度鶴見区運営方針【共通様式】」及び第1回全体会に係る日程調整、机上配付資料「令和8年度『勉強会・意見交換会』でのテーマについて」に関する説明を行った。

6 会議資料

(1) 次第

(2) 令和8年度鶴見区区政会議スケジュール資料1

(3) 令和7年度鶴見区運営方針【独自様式】資料2

(4) 【参考】令和7年度鶴見区運営方針【共通様式】